西日本

（第3種郵便物認可）

久留米総局 kurume@nishinippon.co.jp
0942-32-5361 FAX32-5363
〒830-0021 久留米市櫛山町12-3
大牟田支局 omuta@nishinippon.co.jp
0944-53-3021 FAX53-3022
〒836-0843 大牟田市不知火町1-6-15
柳川支局 0944-72-3179 FAX72-3190
〒832-0075 柳川市柳町3-1-2
筑後大川支局 0942-42-3230 FAX42-3231
〒833-0031 筑後市山ノ井272-15
浮羽支局 0943-75-2805 FAX75-4477
〒839-1321 うきは市吉井町521-1
八女支局 0943-23-2535 FAX23-2565
〒834-0031 八女市本町509-5
小郡支局 0942-23-8620 FAX23-8621
〒838-0143 小郡市小板井244-4-D101

農業未来派宣言

夢 大地と共に ⑤

イチゴ農家 武下浩紹（たけしたひろつぐ）さん（37）＝大川市大野島

失敗を恐れぬ起業家魂

午前6時、農機具置き場を仕切っただけの事務所に「カタ、カタ」とパソコンのキーボードをたたく音が響く。どん底から、はい上がってきた男の表情に迷いはない。5年前に始めた県産イチゴ「あまおう」のインターネット販売で実績を積み、今では1日200件の問い合わせが届く。

いわゆる脱サラ組。2000年に大野島の実家へ戻った。農家の3代目ながら「土いじりは小学時代のアサガオ栽培ぐらい」という素人。それでも「自分で何かを生み出す仕事を」とトマト栽培を継いだ後、イチゴ農家に転身した。

だが、会社員時代に火力発電所のプラント設計で培った〝技術屋の発想〟があだとなる。「腰を曲げずに収穫できる」と、棚で育てる高設栽培に多額の資金を投じたが、栽培技術の未熟さで不作が続いた。

「両親と妻子4人を養わねば…」。レストランで時給800円のアルバイトもしたが、本業の立て直しが先決。ただ、農協を通じて市場に卸すだけでは出荷は5月に終わる。「夏まで出荷を延ばしたい」と、06年にインターネット競売へのイチゴ出品を始めた。

初回の競売。500㌘2千円程度での落札を期待したが、結果は100円。それでも「武下さんちの苺（いちご）」の冠で、収穫の翌日か翌々日までに完熟イチゴを届け続けると、評判は口コミで広がった。06年に100人だった個人客は2年後に500人に増え、評判を聞き付けたネット通販会社との取引も始まった。

岐路は08年に訪れた。JA苺部会から「農協への全量出荷を定めた規則に反する」と、ネットでの個人取引の中止を迫られた。悩んだ末に「消費者と向き合える農家でいたい」と退会届を提出。とはいえ、収穫量の半分をJAへ出荷してきた。今後は自分で売り切る必要がある。死活問題が起業家魂に火を付けた。

百貨店、スーパーへの営業作戦。相手にされずとも「水にこだわったイチゴ作り」を熱く語った。ブログでもPRし、祭り会場では手作りのいちごジュースを売り歩いた。すると「あんた、おもしろいね」と次第に商談が舞い込んだ。

営業が軌道に乗った昨年3月。天候急変でイチゴの味が落ちた。「消費者はだませない」と出荷停止したものの、1週間で回復するとの期待に反し、不良は2週間、3週間と続く。収入はゼロ。「生活のために出荷すべきだ」との周囲の助言にも首を振った。夜も眠れぬ精神状態の中、常連客から「武下さんのイチゴなら、何日でも待ちます」と励まされた。1カ月後に出荷再開。涙があふれた。

どん底を抜け出すと、自分の周りに人の輪ができていた。自主的に注文を集めてくれる県外客、商売を教わった経営者…。「失敗を恐れていたら、今の自分はなかった」。個人客は2千人を突破し、百貨店との取引も順調。ジャム、ゼリーの加工品販売も始めた。

「まだ成功したとは言えない。でも自信はある。もっと、もっと、武下くささを出しますよ」。農地からビジネスを生み出す起業家は常に前を見ている。

（筑後大川支局・助清文昭）

パネリストとして招かれた久留米市内での農業経営講座で、就農希望者らに「他人の失敗を指摘するだけの評論家になるな」と熱く語る武下浩紹さん

10年後の自分予想

過疎化が進む大野島でまちづくりのキーマンになりたい。キーワードは農業です。「大野島で伸び伸びと子どもを育てたい」と考える若い夫婦たちに農業で起業してほしい。そのためにも農家と取引先を結ぶ代理店として頑張りたい。私が培った営業のノウハウを包み隠さず教えますよ。子どもが増えれば、児童減少に悩む母校の大野島小を将来的にも残せるはずです。

はじめてのバースデー

村本 明陽（あはる）ちゃん

10年8月22日生まれ。徹、由紀さんの長女。「太陽のように明るい子に育ってね！」（久留米市櫛山町）

井口香奈美（かなみ）ちゃん

10年8月22日生まれ。徹、真央さんの長女。「かなちゃん、1歳でとろう！」（柳川市[illegible]）

中野田 美由俐（みゆり）ちゃん

10年8月22日生まれ。浩二、里美さんの長女。「あなたの笑顔でみんな幸せやきね」（柳川市[illegible]）

浦 琉貴（るき）ちゃん

10年8月[illegible]日生まれ。[illegible]貴、豊[illegible]さんの長男。「いっぱい[illegible]にすくすく育[illegible]」（大[illegible]）

やすらぎ荘支援金

郵便振替 01770-2-108626

【22日】広川町日吉、馬場智章さん＝3千円（29回目）

東日本大震災救援金寄託者

西日本新聞民生事業団

25万円＝明光学園後援会（大牟田市）▽1万5335円＝夏まつり（よかっ祭）実行委員会（八女市）

（敬称略）

新しい名菓
からたちの
―越山―
THE QUALITY CAKE